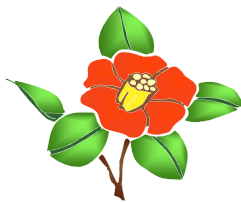


三中校報



令和5年度 第8号
大島町立第三中学校
校長 松島 睦磨
令和5年 12月 21日発行
電話 04992(4)0183
FAX 04992(4)1964
E-mail : 06T000@izu-oshima.ed.jp

想いを継承する

校長 松島 睦磨

是非多くの皆様に読んでもらいたい作文があります。
(掲載に際し本人、保護者及び関係機関の承諾を得ています。)

忘れてはいけないこと

大島町立第三中学校 三年 下島弦太

今、僕がたっているこの場所。心地よい風と青い空、そして、目の前に広がる芝生たち。つい、息を大きく吸い込んでしまいたくなるこの陽気に、僕は想いを馳せる。

何年も前、僕が小さい頃のことだ。その日、僕が住んでいる伊豆大島に、季節外れの台風がやってきた。今でも、家じゆうの悲鳴と木々のざわめきが耳から離れない。僕らを見放すような冷たい夜に、それは起きてしまった。

次の日の朝、テレビで見た光景。一生忘れることない衝撃的な出来事だった。僕が住むこの小さな島で、死者36名、行方不明者3名もの被害を出した土砂災害が起こったのだ。多くの家屋を壊した土砂は、道路をも乗り越え、海にまで流れてしまっている。夜間、雨が強く地面を打ちつけていた状況の中、避難をすることもできずに亡くなってしまったその命。今思い出すだけでも、とても悲しい気持ちになる。

それから十年が経とうとしている今、災害現場に、とても大きな公園ができた。山の斜面を活かした公園には芝生が綺麗に敷かれていて、思わず寝転んでしまいたくなる。小さなアスレチックに、ウォーキングコース。フットサルコートに、スケボー広場。更には、野外ステージもある。公園をゆっくりのぼっていくと、土砂災害で亡くなった方々の慰霊碑がある。ここから、公園は一望できるようになっていて、

青く輝く海もはっきりと見える。悲しい災害を忘れないための、大切な公園だ。

このような素晴らしい公園ができたのは、税金のおかげなのだ、改めて考えてみる。僕はまだ、消費税しか払っていないけれど、日本全国の皆さんの努力の結晶が、こういったものを作り上げるのだと思うと、なぜだか少し感動してしまふ。

税金は公園だけでなく、様々な社会保障や建物の建設などに使われていて、僕たちの生活には絶対欠かせないものとなっている。僕が通っている学校にも使われているし、僕たちは身近なところで、必ず税金のお世話になっている。

調べてみると、土砂災害防止、減災への取り組みでも、多くの税金が使われていることが分かった。過去の災害を忘れないためだけでなく、同じような悲劇を繰り返さないよう対策するために、僕達の大切な税金は使われている。

僕が社会の一員になって、納税が義務になったとき、税金がどういう使われ方しているのかをしっかりと理解して、精一杯働いていこうと思う。

公園に植えられている木々は、何年後かには大きく成長しているだろう。僕はその時を、楽しみに待っていたい。

先日、本校では噴火を想定した防災訓練を行いました。全島民避難から得た教訓を忘れないよう、風化させないよう、他の訓練とは一つ意味合いの異なる取り組みです。

この作文を読んでまず感じたことは、「記憶が、教訓が、島民としての想いが継承されている。」という感動と安堵感でした。下島弦太君をはじめ島の中学生を頼もしく感じるとともに深く感謝したいです。そしてこれからの大島を託したいと改めて思いました。

この作文は国税庁・全国納税貯蓄組合連合会主催「税についての作文」に応募され、「東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞」及び「芝税務署長賞」を受賞しました。

生徒たちはこれから冬休みを迎えます。三中生には年末年始の諸行事等において地域の一員としてその役割を果たしてほしいと思っています。

改めまして、令和6年が保護者の皆様、地域の皆様、そして三中生にとって良い年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

文化祭

1年生

『主役だらけの物語』

初めての文化祭、11月18日の当日は欠席者が多く上演を見送りましたが、改めて機会を設定していただいた感謝を胸に、少ない時間で練習を重ねて12月9日に無事劇を披露することができました。最初に台本を読んだ時から生徒はとても楽しそうで、役柄が決まった後も積極的に表現を工夫したり、キャラクターの研究に励んだりしました。今回の劇のテーマは「オンリーワン」。このテーマ通り、一人一人の個性が輝く劇になりました。何よりみんなで一つのものを作り上げる経験ができたことに意義があったと感じます。来年も楽しみです。別日程の開催になったにもかかわらずご観覧いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。



三中 HP <http://www.town.oshima.tokyo.jp/~oshima3c/index.html>

ホームページにカラー版を載せてあります。ぜひご覧ください

2年生

『ショート・ショート・ショート』

2年生は短い4つの劇を行いました。1つ1つの劇が短い分、うまく表現することができるかとても不安でした。しかし、その不安を払拭する、昨年度よりも大きく成長を感じた瞬間がありました。練習を重ねていく中で、少しずつ劇の形が出来上がってきたところに、生徒から「こういう演出にしたい」「こんな小道具があったほうがいい。」と具体的に意見ができました。自分が出演しない劇のことでも、意見を出し合い、よりよい表現になるように話し合いました。2年生らしいお互いをお互いがフォローし合い、協力していく姿がたくさん見られ、また文化祭を通して成長していくことができました。来年はいよいよ3年生として最後の文化祭を迎えます。どんな劇が完成するのか、今からとても楽しみです。ご観覧くださった保護者の皆さま、地域の皆さまありがとうございました。今後とも2年生の成長を温かく見守っていただけたら幸いです。



3年生

『戦争を知らない子どもたち』

3年生にとって中学校生活最後の文化祭。五月に修学旅行で訪れた薬師寺では、クラス全員で作詞し、音楽部の下島弦太さんが作曲した奉納歌「ふわふわ日常」を奉納しました。今年の文化祭は、今ある日常の有り難さや平和を願うこの歌を劇でも表現できたら…という思いから始まりました。過去と現代の少年少女が時代を越えて交流し命や平和の大切さについて考えるこの物語は、1年生、2年生で演じた劇と比べ、場面の切り替わりやセリフの量が多く、「二週間で完成させることができるのだろうか。」と練習前は不安に思う部分もありました。しかし、文化祭準備期間が始まると、セリフの言いまわしや動きなど、自分たちで意見を出し合いながら劇を創り上げていく3年生の姿がありました。本番では、全員揃うことが出来ず残念でしたが、3年間、劇を創り上げていく中で、沢山の成長をみせてくれたと思います。ご観覧してくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



音楽部

今年度の発表は、アンコールも含め計4曲を披露させていただきました。その中でも2曲目に演奏したスピッツの「美しい鱈(ひれ)」では、部員が2名と少ないなか、助っ人として参加してくれた3年生の力を借りて演奏いたしました。今までの音楽部ではなかなかできなかった、重厚な音楽をお届けすることができたのではないのでしょうか。また、3曲目には、楽器をはじめて僅か半年の部員がOfficial髭男dismの「Subtitle」で立派なソロを発表いたしました。

部員こそ少ない部活ではありますが、会場の皆さんが手拍子や温かい拍手で盛り上げてくださったことで、素敵な演奏をお届けすることができました。音楽を演奏する楽しさ、表現することの素晴らしさを皆様にお伝えすることができたのではないかと思います。音楽部はこれからも精力的に活動してまいりますので、温かい目で見守ってくださると幸いです。



全校演奏

今回の文化祭では「ボディーパーカッション」と合唱「My Own Road-僕を創る明日-」の2曲を披露いたしました。「ボディーパーカッション」はコロナ禍によって合唱が難しくなってから始まり、今年で4年目になります。今年も、3年生が6月からリズムを考え、試行錯誤した末に完成させた大作です。学年ごとのソロリズムも各学年夏休み前から練習をはじめ、4か月以上もの期間、音楽の授業を中心に練習し続けてきました。3年生が1・2年生に向けて丁寧なリズムを指導し、1・2年生が一生懸命練習し、全員が真剣に取り組んだことで、スムーズに完成へと駒を進めていくことができました。

合唱は、生徒たちの投票によって選ばれた曲です。選曲にあたり、多くの生徒が「元気な雰囲気が三中に合っている」「三中にピッタリな歌詞だと思った」とコメントしていました。練習を始めてからも、この曲を歌っているときの生徒の表情はいつも明るく、この歌が大好き！という気持ちが全身から伝わってくるような練習の様子が見られました。サビには「誰かが背中を 押してくれるのを 待ってるだけの昨日から 変わりたいんだ」という歌詞があります。まさにこの歌詞のように自ら一歩踏み出して、前向きに練習に取り組んでくれた三中生の皆さん。残念ながら当日は全員が揃うことは叶いませんでしたが、オンラインで繋がっている仲間の分まで、舞台上にいたメンバーが一生懸命演奏してくれました。当日ご来場くださった皆様に、当日来られなかった生徒たちの思いまで届いたのなら幸いです。



小中連合音楽会



文化祭は全員そろっての演奏が叶いませんでしたが、12月5日に行われた連合音楽会では、1・2年生全員、計20名が舞台上ることができました。

発表したのは文化祭でも披露した「ボディーパーカッション」と合唱「My Own Road-僕を創る明日-」です。当日の朝、つつじ小学校との合同音楽集会で5・6年生の演奏を聴いた後、つつじ小学校の皆さんと中学3年生の皆さんに向けて発表しました。緊張も見られましたが、見知った顔ぶりに落ち着いて発表ができていました。

午後になり、3年生に見送られて開発総合センターへと向かった生徒たちは、会場に着くなり、予想以上の観客数にびっくりしたようです。特に1年生は不安でいっぱいだったようですが「今まで頑張った成果を発揮したい」という前向きな気持ちで演奏に臨み、無事に終わることができました。本番では、舞台袖で見せていた不安な表情とは裏腹に、堂々とした姿を見せてくれた1・2年生の皆さん。ボディーパーカッションも合唱も、今までで1番息の合った演奏を披露してくれました。一中、二中の皆さんの演奏にも刺激をもらったようで、これから、1・2年生のさらなる成長が楽しみです。

花いっぱい運動

三中の恒例行事となっている「花いっぱい運動」が12月7日（木）に開催されました。生活委員の生徒が苗の植え方を説明し、全校生徒で協力しながらパンジーとヴィオラの苗を鉢に移し替えました。200個あった鉢も生徒同士の協力によって、30分ほどで作業が終わりました。また今回植えた花は卒業式や入学式で飾る花であり、生活委員が中心となって生徒自ら育てていきます。花の日々の成長は微々たるものですが、卒業式の頃には大きな変化を感じるものになります。花の成長を見ながら生徒自身も自分の成長に気付けるように引き続き指導を行っていきます。



各種コンクール等の主な入賞者

●【税の作文】《東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞》《芝税務署長賞》 下島 弦太（3年）

●【薬物乱用防止標語】

・島しょ地区選考入賞作品

《最優秀賞》 土屋 明奈 （2年）「いりません」 世界中の あいことば

《佳 作》 船木 万里帆 （2年）「やりません」 きちんと言うかが 分かれ道 自分で未来を 壊さぬように

《佳 作》 石井 龍騎 （3年）考えろ 薬物やって 何になる 見失うなよ 輝く未来を

《佳 作》 山田 姫奈 （2年）一瞬の 軽い気持ちが 後悔に

《佳 作》 下島 弦太 （3年）薬物は 愛と勇気で 吹き飛ばせ

《佳 作》 木村 翔愛 （2年）少しだけ 興味本位で 手を出して とめればしない 薬物依存

1月行事予定

第三中学校は自力登下校を推奨しています

日	曜	行 事
1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	冬季休業日(終)
8	月	成人の日
9	火	始業式
10	水	
11	木	
12	金	避難訓練
13	土	
14	日	
15	月	SC
16	火	心理士
17	水	町教研(全学年5校時なし)
18	木	
19	金	学校公開 道德授業地区公開講座 英検
20	土	学校公開 百人一首大会 校内マラソン大会
21	日	
22	月	振替休業日
23	火	連合作品展見学日 SC
24	水	SC
25	木	職場訪問(1)
26	金	都立推薦入試 専門委員会
27	土	都立推薦入試
28	日	
29	月	生徒朝礼 脊柱側弯検診 SC
30	火	職場体験(2) 学校保健委員会
31	水	職場体験(2)

大島町連合作品展 1/19(金)～23(火)

会場：つばき小学校 体育館

生徒たちが美術・技術・家庭科・国語の授業で制作した作品を、ぜひご覧ください。

なお、今年度は会場が開発総合センターからつばき小学校の体育館にかわっております。お間違えのないようにお越しく下さい。

1/20(土) 学校公開

「百人一首大会」8:30～9:55

会場：体育館

「校内マラソン大会」

男子：スタート 10:40

三中校庭～筆島往復(約6.4km)

女子：スタート 10:45

三中校庭～町野球場往復(約3.3km)

学校公開中でもありますので、是非ご来校いただき生徒を応援していただければと思います。

1年生職場訪問 1/25(木)

2年生職場体験 1/30(火)～2/1(木)

キャリア教育の一環として、進路学習で身につけた力を見学や体験を通して深め、自分の適性をさぐるとともに、働くことの意義、勤労の大切さや厳しさ、喜びや達成感を知り、今後の進路選択につなげていきます。

事業所の皆さまにはお世話になります。

<2月の予定>

1日(木)職場体験(2)(終)

2日(金)都立推薦合格発表

9日(金)新入生保護者説明会

12日(月)振替休業日(建国記念の日)

21日(水)都立一般入試・学力検査

23日(金)天皇誕生日

26日(月)～28日(水)学年末考査